

《五ヶ瀬川》多機関連携型タイムライン机上訓練を実施 ～内水被害、土砂災害も踏まえた二次案の検討～

- タイムライン一次案について、各機関で内容を確認するため、土砂災害や内水被害も想定した、現実に近い実践的な訓練を実施。(H30.2.26)
- 訓練の実施後はグループワークを行い、今後に向けての課題を共有。
- この結果は、タイムラインの二次案に反映させる予定。

- 日時：平成30年2月26日 13:00～17:00
- 会場：延岡市消防本部 2F会議室
- 参加者：約46名(参加機関 約13団体)

②グループワーク 災害時の行動項目を確認・修正

- 時系列に沿って行動項目の内容とそのタイミング、伝達先、連携先を確認し合いながら、変更点や追加する項目があれば適宜付箋を用いて修正作業を実施。
- 検討すべき項目や、留意点、課題について、各々「当日メモ」に整理。

①タイムライン一次案の確認

災害・防災情報、一次案の確認



訓練の進め方とタイムライン一次案の確認



行動項目を確認



変更・追加する箇所を明示



③報告

議論した変更点や留意点を発表、今後に向けての課題を共有

- まとめた行動項目一覧表をもとに、議論した変更点や留意点、課題について報告。
- 訓練を受けての感想や、今後に向けての課題を共有。



時系列に沿って行動項目を確認、各関係機関の作業の様子

自治体：想定最大規模降雨による洪水では延岡市は全域が浸水するため、広域避難できる場所の協議が必要。
企業：各関係機関との連携強化が非常に大事。情報を一元化し共有する事が必要。
交通事業者：運行停止の判断基準がないため早急な作成が必要。

④総括 座長：宮崎大学 村上教授



宮崎大学 村上教授 コメント

今回の訓練を通じて、想定最大規模降雨の際の判断についてのおおよそのタイミングを決めておくこと、組織間の連携が円滑となるような情報共有システムを構築していくこと、個々の組織でもっと協議していくことの重要性について気付かれたと思うので、引き続き個別のヒアリングのご協力をお願いしたい。



各関係機関の報告の様子(各関係機関で議論した内容を発表)